

(様式1)

自己評価票

作成日 平成29年2月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300878		
法人名	有限会社 ケア・コンフィデンス		
事業所名	グループホーム しょうわ家族	ユニット名	鶴ユニット
所在地	〒300-0877 茨城県土浦市荒川本郷218-173		
自己評価作成日	平成28年9月30日	評価結果 市町村受理日	平成29年2月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870300878-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年11月13日	評価確定日	平成29年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>日中は玄関からの出入りの制限はなく、利用者は自由に外気浴や散歩に出掛け、あるいは庭の果実を収穫したり、猫たちと戯れたり思い思いに過ごされている。行きつけの美容院や散歩の途中で馴染みの住民の方にお茶を頂くこともあり、地域の中での暮らしが定着している。</p> <p>季節ごとに野菜や果実を育て収穫の喜びを味わっている。健康、元気の源となる「食」を重視しており、収穫した野菜はもとより、ご近所からの季節のいただき物を食材として、全てスタッフが手作りを提供している。毎食利用者からのおいしいね～の笑顔があふれている。</p> <p>利用者お一人お一人の意向に添いながら、小規模のグループホームならではの馴染みの関係の中で、心地よい時間を過ごしていただける「暮らし」を重視し、個別ケアに努めている。</p> <p>年々利用者の重度化が進み、ご家族のご希望も相まり、住み慣れた馴染みの場所となっているグループホームでの看取りも昨今行っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所敷地内に自家菜園や果樹があるほか、烏骨鶏やメダカ、金魚を飼育しており、利用者は四季折々の自然を感じることができる環境で、収穫の楽しみも味わっている。</p> <p>職員は行食事や定期的な外食など、利用者の食に対する興味を大切に、いつまでもおいしく食事が摂れるよう工夫している。</p> <p>通所介護事業所が併設しており、そこに通う延長線上で入居する利用者もいるなど、地域住民が安心して入居できる環境となっている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を、スタッフが集まる玄関・事務所に掲げて共有している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	芋煮会、餅つき、避難訓練などの行事にご近所の方に呼びかけ参加して頂いている。ボランティアさんの受入れ（太極拳、歌）近隣の方との挨拶や美容室利用など日常的に交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	茨城県地域密着型サービス協議会認定認知症地域サポート相談窓口を設置して相談業務を行っている。地域の小学校「こどもを守る110番の家」を委嘱されている。運営推進会議を2ヶ月に1度開催している。地域の方の見学や相談に応じている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において運営委員、施設代表者、スタッフ間と意見交換した内容をケア会議において報告し、利用者支援に取り入れるようにしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	土浦市地域密着型サービス運営委員会委員として日常的に連携を図っている。土浦市職員に運営推進会議に出席して頂き、意見交換、アドバイスを頂いている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	H28年5月身体拘束についての施設内研修を実施。玄関は緊急やむを得ない状況の時は施錠。出入りをチャイムで確認している。1名、後見人の承諾を得て転倒予防の為、車椅子使用時ベルトを使用。日中のトイレ誘導、リハビリの施設内歩行ではベルトを外している。身体拘束マニュアルを作成（H28年5月）して周知努めている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の施設内研修で高齢者虐待についても学んだ。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2名の利用者が後見人制度を利用している。運営推進会議の委員に1名委嘱してご意見を頂いている。11月後見人制度について施設内研修を実施する予定。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は代表者、管理者が行っている。ご本人、ご家族が十分に納得され安心して入居して頂けるよう対応に努めている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方には日々の暮らしの中で、ご家族には面会時に相談・ご意見・要望を伺い対応している。ご家族からの要望等はユニット会議・ケア会議・朝夕の申し送り等で速やかに意見交換して反映させるようにしている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議、ユニット会議を開催し、運営全体の事を話し合い、意見、提案を聞き、できる事は速やかに反映させている。毎日の朝・夕の申し送りにおいてもその都度意見・提案を表出する機会もある。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員それぞれの得意分野の披露の場を提供する事により、やりがいに結びついている。代表者はキャリア段位制度の運営体制を確立して、やりがいやスキルアップのモチベーションにつなげている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入社員研修(全5回)2名、認知症介護基礎研修(7月)1名、認知症介護実践者研修(第1回、第2回)2名、施設内研修(5月身体拘束について)10名参加実施。職員初任者研修(12月)1名参加予定。資格取得の為の予備講座や研修を案内し受講する機会を提供している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	土浦市グループホーム連絡会に参加し意見交換をしている。土浦健康まつりに参加している。「土浦市在宅医療・介護連携拠点事業地域リーダー研修会Ⅱ」を修了し土浦市在宅医療と介護の多職種連携に参加している。スタッフ個人参加のボランティア活動で異業種施設と交流している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人との面談を重ねて、好きな事嫌いな事、行動様式などを日常生活、触れ合いの中で把握しながら、より良い関係が築けるよう努めている。入所前に利用していたデイサービスからも情報を得ている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時面談を行い、以降はその都度お話を伺い、要望や不安などの相談を受けながらより良い関係作りができるよう努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	デイサービスを利用しながら、ご家族、デイサービス相談員、グループホーム管理者と連携を取り「その時」を見極めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意欲、意向を尊重しながら家事活動など得意なこと、できる事を協力していただいている。暮らしの中で利用者もスタッフも生活者として同じ土台に立つことを意識している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会は自由で、外出も制限はない。特に医療の方針に関してはご家族の意向を尊重している。日頃から様子や体調など情報を共有して共に支えて行く関係を築いている。しょうわ便りを担当者のコメント付きで年4回発行している。ホームページもご本人を身近に感じていただく一助となっている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法事、結婚式にご家族の協力のもと参加されている。入居前から続けてきた趣味(卓球)を継続する支援を行っている。面会がオープンで、お知り合いが訪問されることもある。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールの座席の配置をいろいろな人との会話を楽しめるように工夫している。共用ホールでは両ユニットの利用者同士の交流やボランティアなどの催しにはみんなで参加している。気のあった利用者が一緒に入浴することもある。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご自宅に戻られた方がデイサービスを利用する際、時々グループホームに顔を出して下さり、ボランティア活動に参加される事もある。退去されたご家族が来訪される事もあり、気軽に話しかけたり、相談できる関係性の維持に努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉で伝えることが難しい方もおられ、その行動の裏や奥に潜む「何か」を探りながら快適に生活して頂けるよう努めている。変化ある時はご本人、ご家族、スタッフ間で話し合いを重ねている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを通して生活歴、ご本人の思い歩んできた道のを把握している。ご本人、ご家族との会話を重ね、居宅ケアマネ、かかわっていた事業所のスタッフからの情報収集も行っている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックやご本人の様子を観察して個人記録に記載して、スタッフ全員で記録を確認することで情報を共有している。朝・夕の申し送りに変化ある時は申し伝えている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議、ユニット会議で個別のケアについて意見を出し合い話し合っている。ご家族の要望、ご本人の普段の生活の様子、ケア会議での意見を踏まえて介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にそのとき対応したスタッフが日々気付いたことを記録している。その結果を踏まえ、介護計画の課題に取り入れ、あるいは見直しをしている。一方記録の漏れもあり、今後一層の注意を払いたい。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	認知症対応型デイサービスを併設している。ボランティアを積極的に受け入れている。太極拳(月2回)、朗読会(月1回)、歌の会(月1回)、行事(敬老会、クリスマス会、夕涼み会、運動会)など。個別ケアを勧め、利用者の多様化に対応できるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のスーパーへ小グループでの買物、公民館の卓球クラブ参加（毎週水曜日）、近隣のボランティアさんの定期的な来訪、近所の美容院でのカットなど、地域の中にあるお店や住民の方々に支えていただいている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	すべての利用者にかかりつけ医がいる。原則入居前の主治医がそのままかかりつけ医になっている。通院困難な場合ご家族と相談のうえ往診に切り替えて継続して医療が受けられるように支援している。24時間体制で訪問看護ステーションと連携をとっている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間体制で訪問看護ステーションと連携をとっている。毎週火曜日看護師が訪問。利用者の健康状態のチェック、相談、主治医、必要に応じて家族との連携を図っている。利用者の体調変化による緊急時にも対応している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問看護ステーション、入院先の主治医、医療ソーシャルワーカーと連携を取り適宜対応できるようにしている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時の取り組みを（看取りを含めて）ご家族の希望を伺い、主治医、訪問看護ステーション、施設長、管理者、職員間で相談・話し合いをその都度行っている。現在まで数名の方の看取りをした。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は訪問看護ステーションが24時間対応し直ぐに訪問してバイタル等状態を判断し主治医に報告指示を仰ぐ体制になっている。救命救急訓練は定期的には行っていない。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2/28近隣で消防車が出動する火災が発生し、デイサービス棟に避難した。その際、ご近所の協力も得られた。年2回防災訓練を実施（1回目3/30、2回目10/21）。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけは、ご本人の行動、顔色などを見極めて声のトーン、口調、タイミング、言葉に注意して利用者の気持ちを受け止める対応を心掛けている。ご本人の名前を「ちゃん」付けしない。特にトイレ介助ではプライバシーの保護に注意している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	服装や行動などご本人が選択できるような問いかけを心掛けて自己決定できるよう支援している。利用者に疑問形で尋ね、ご本人の希望を引き出す工夫をしている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩は自由にご本人のタイミングで行かれている。日課以外はご本人のペースで過ごしていただいているが、入浴時間・回数、食事時間など職員（施設側）で設定している。利用者から「天気いいなあ」との声が上がると「外気浴しましょうか」気持ちに沿う対応を心掛けている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望に添い好みのヘアースタイルを美容院でカットしている。その日の衣服などはご自分の好みに合わせて選んでいただき、お化粧品をしている方の化粧品の補充など要望に答えている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の収穫、野菜の皮剥きなどの下拵えや、テーブル拭き、食器洗い等、楽しみながら行えるよう支援している。職員も同じ献立の食事を利用者と一緒にいただいて食材についての会話も弾み、楽しい食卓の雰囲気作りに努めている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士より老人食の講義と実習を受ける（2/8）。食事摂取量、水分量は毎日記録して状態を把握している。食形態、量はご本人の状態に合わせて必要に応じて調整している。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛け、介助が必要な方にはケアを行なっている。訪問歯科診療を利用している方もいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人記録に排泄パターンを記録し、各利用者のADLに合わせた声掛け、トイレ誘導、清拭等を行っている。夜間リハビリパンツを使用から日中は布パンツに、夜間大パットから日中は小パットにする等、極力自立に向けた取り組みを念頭に入れ対応している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できる限り自然排便が出来るように、食事での考慮（乳製品、野菜、食物繊維、水分摂取）をしている。毎日のリハビリ体操、訪問看護・主治医と連携をして、必要に応じて薬を服用する場合もある。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	火曜日以外毎日午後2時～4時の間に入浴日を設けている。利用者のその日の体調やペースに合わせて対応している。季節湯や入浴剤を使用し楽しめる工夫をしている。週2回の入浴又は清拭を設定しているが、利用者の意向が沿わない場合もあり週2回実施されないこともある。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活リズムを尊重し、体調を見ながら、日中の休息を促したり夜間安眠できない場合は声掛け、傾聴をし、安心して休めるように配慮している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する薬の情報をファイルしていつでも可確認できるようにしている。症状の変化など主治医、看護師に相談し指示に従い調整をしている。服薬は職員が手渡し、服薬するまで見守り、服薬後の状態も観察している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事、外出、散歩、卓球など個々の利用者に応じた役割、楽しみ方を実践出来るように支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎週土曜日はおやつの買い出しレクを行っている。四季折々の風景を楽しむドライブ、公園散策、買い物、地域での年中行事、催し物等に利用者さんの希望、興味を聞きながら出掛けている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小口のお金を事務所でお預かりして、買い物、外食、美容院などで支払っている。時々はお本人に支払っていただくこともある。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>私信はお本人にお渡ししている。ご家族に前もって電話をして良い時間をお聞きして、ご本人から要望があるときに電話をかけている。ご家族からの電話は取り次ぎ、お話が出来よう支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用ホールの壁面に毎月季節感のある飾り付けをしている。両ユニットで集える場所が施設中央（神楽の間）や玄関ホールにあり長椅子、籐椅子があちこちに配置され、いつでも気軽に利用することが出来る。中庭で飼育されている烏骨鶏や季節感あふれる草花を眺めながら入居者同士の交流の場となっており居心地の良い空間となっている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関ホールで談話したり神楽の間で静かに過ごしたり各々のペースで思い思いの場所で過ごせるようになっている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具・備品の持ち込みは自由で、馴染みの家具やベッド、置物、装飾品などを好みに合わせてレイアウトして、今までの生活が継続できるよう配慮している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室に表札を掲げご自分の部屋だと認識できるようにしている。また日常的に使う「便所」「浴室」トイレ水洗「大・小」など分かりやすく文字で表示して工夫している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない